

つながる! IoT × 現場 × Ecoシステム

JB group



JB group

JBグループってどんなグループ？

JBCCホールディングス株式会社

【東証一部 情報・通信業 証券コード:9889】

Question. 1**JBグループの歩みは？**

2014年4月に創立50周年を迎えました。

今までの歩みをふりかえると、日本で初めての漢字処理ができる「JBCシステム-1漢字」等のオフィスコンピューターの開発・製造・販売を行っていた「自社ブランド展開期」、日本IBMとの資本提携による「IBMパートナー期」、その間、2000年には東証一部に上場しました。2006年には純粋持株会社体制へ移行し、現在の事業会社は13社です。

「ITの可能性を、未来の可能性に。」をキーワードとして、日々進化を続けています。

ITの可能性を、未来の可能性に。・・2016年4月 創立52年**第1の創業**

自社ブランド展開期
会社設立 1964年

オフィスコンピューター
周辺機器の製造・販売

「システム-1漢字」 1977年
「C-200」 1983年

第2の創業

IBMパートナー期
日本IBMとの提携
1983年

東証2部上場 1999年
東証1部上場 2000年

第3の創業

**さらなる発展に
むけて**

純粋持株会社
2006年

個々の事業会社が持ち味を活かして連携し、お客様の経営課題の解決をご支援しています。

Question. 2

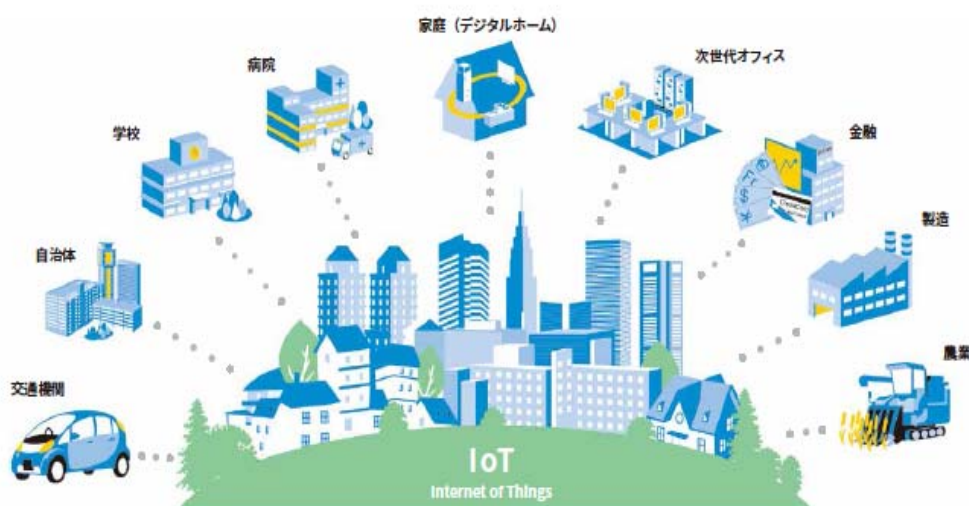
どんなグループを目指しているの？

今やITは、企業経営への役立ちのみならず、生活のあらゆる場面に利用され、社会になくてはならないものになってきています。

クラウドを中心とした技術の進化、ソーシャルメディアの急成長に加え、あらゆる“モノ”がインターネットにつながる、IoT（Internet of Things）の実現がはじまっています。IoTにより、今まで離れていた“モノ”と“モノ”がつながり、今まで想像できなかったような、新たな価値が生み出される…。

JBグループは、クラウドを中心とした具体的なIT活用を提案し、未来に向けて『社会、お客様、株主、社員と感動を共有し、信頼されるグローバルなベストサービスカンパニーを目指す』をビジョンとして、さまざまな分野で具体的な取り組みを行っています。

**社会、お客様、株主、社員と感動を共有し、
信頼されるグローバルな
ベストサービスカンパニーを目指す。**



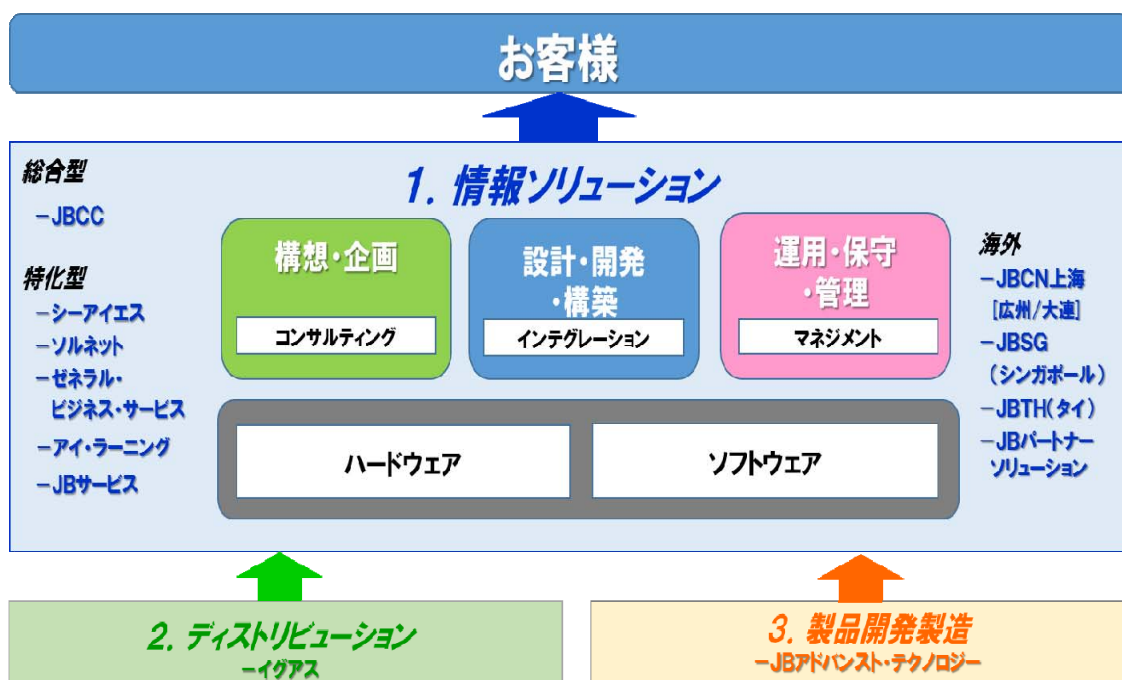
Question. 3

JBグループの事業は？

「情報ソリューション」「ディストリビューション」「製品開発製造」の主に3つの事業分野で活動しています。

情報ソリューション分野は企業の情報システムの構築、運用保守までをワンストップで支援しています。ディストリビューション分野はパートナー企業向けに、ハードウェア、ソフトウェアの販売、ITサプライ品やオフィス文具等の販売を行っています。製品開発製造分野はプリンターなどの情報機器やJBグループ独自のソフトウェアの開発・製造・販売を行っています。

3つの事業分野

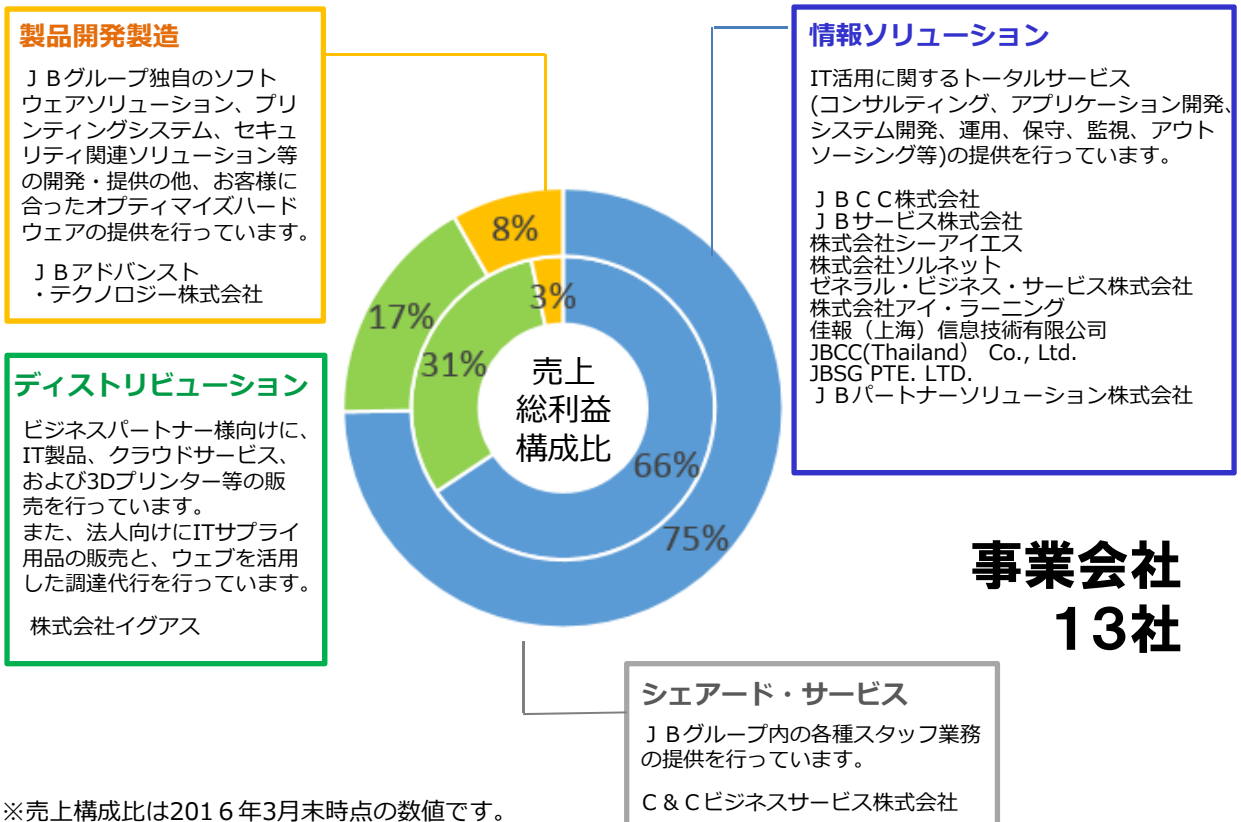


Question. 4

事業会社の状況は？

各分野の事業会社は、JBCC株式会社を中核とする情報ソリューション分野で10社、ディストリビューション分野1社と製品開発製造分野1社です。これらにグループの人事・総務・経理等のスタッフ業務をシェアードサービスする1社を加えた計13社がJBグループとして活動しています。

JBグループでは個々の事業会社が持ち味を活かして連携し、お客様にサポート&サービスを行っています。



※売上構成比は2016年3月末時点の数値です。
※内側が売上、外側が総利益です。

Question. 5

お客様への提案ソリューションは？

J Bグループはクラウドを中心とした具体的なIT活用を提案し、お客様と共に、お客様の成長に貢献する新しいIT活用を提案しています。



■クラウド ハイブリッドなシステム環境へ

ERPソリューションや情報発信ソリューションなどのアプリケーションを安全・安心に提供しています。

■セキュリティ いつでも、どこでも安心のIT環境へ

スマートデバイスの活用やクラウド上のデータを安全に使うためのセキュリティサービスを提供しています。

■モバイル いつでも、どこでも欲しい情報にアクセス

いつでも、どこでも安心してモバイル活用ができるIT環境の構築を支援します。

■ビッグデータ 膨大なデータを価値ある情報へ

基幹業務、SNS、あるいはセンサーから送り出されるデータなど、様々なデータを分析し、経営戦略に役立つ情報を支援します。

Question. 6

######

Question. 7

協業パートナーって？

J Bグループでは日本IBMをはじめとして、パートナー各社と連携して、個々のお客様毎に最適なソリューション、最新のソリューションをご提案、ご提供しています。

ハードウェア、ソフトウェア、セキュリティ、クラウド、医療等の各分野でリーダーシップを持つ企業がJ Bグループと協業しています。

J Bグループはこれらの企業からもパートナーとして認定されており、製品取り扱い実績等から、毎年、多くの賞をいただいています。

【製品】

日本アイ・ビー・エム株式会社※
リコージャパン株式会社
キャノンマーケティングジャパン株式会社
レノボ・ジャパン株式会社
Super Micro Computer, Inc.
日本ヒューレット・パッカード株式会社
株式会社日本HP
東芝テック株式会社
株式会社 日立製作所
EMCジャパン株式会社
ネットアップ株式会社
3D Systems Corporation
シスコシステムズ合同会社

【ソフトウェア】

日本マイクロソフト株式会社※
ジェネクス・ジャパン株式会社
Vision Solutions, Inc.
日本オラクル株式会社
ソフトバンク コマース＆サービス株式会社
SAPジャパン株式会社
スーパーストリーム株式会社※
株式会社OSK※

【クラウド】

Amazon Web Services, Inc.
VIEWMウェア株式会社
グーグル株式会社
株式会社IJグローバルソリューションズ
株式会社セールスフォース・ドットコム
サイボウズ株式会社
GMOメイクショップ株式会社
株式会社 セゾン情報システムズ
ウイングアーク1st株式会社
株式会社インフォファーム

【セキュリティ】

株式会社FFRI
バラクーダネットワークスジャパン株式会社
トレンドマイクロ株式会社
株式会社シマンテック
ファイア・アイ株式会社
パロアルトネットワークス株式会社

【医療】

亀田医療情報株式会社
株式会社NHCS
株式会社ナイス

Question. 8

コンソーシアムでの活動は？

お客様の成長を支援するために、コンソーシアム(企業連合)等で、リーダー企業や業種、業務に特化したパートナー様と連携し、最適なソリューション(問題解決)を推進しています。



お客様に最適な**クラウドサービス**を提供することを目的に、業種、業務に特化したパートナー企業と連携を図り、各社の知見や技術を融合した新たなサービスを創出するため、「俺のクラウド倶楽部」を2015年に設立しました。

[会員一覧]

- ・ GMOシステムコンサルティング株式会社
- ・ GMOメイクショップ株式会社
- ・ 株式会社OSK
- ・ 株式会社SCP.SOFT
- ・ アマゾン データ サービス ジャパン株式会社
- ・ 株式会社インフォファーム
- ・ ウイングアーク1st株式会社
- ・ エヴィクサー株式会社
- ・ 株式会社エーディテクノ
- ・ エスケイネット株式会社
- ・ クリエーションライン株式会社
- ・ 株式会社 セゾン情報システムズ
- ・ 株式会社データ・アプリケーション
- ・ 日本アイ・ビー・エム株式会社
- ・ 株式会社ハンモック
- ・ 株式会社ファースト
- ・ 菱洋エレクトロ株式会社
- ・ JBアドバンスト・テクノロジー株式会社
- ・ 株式会社イグアス
- ・ JBCC株式会社



JBCC Healthcare Consortiumは2004年に、JBCCと**医療・ヘルスケア**分野に関連した優良企業が設立した企業連合です。単独企業では解決が難しい医療機関全般の課題に対して、総合力を生かした問題解決を行っています。

[会員一覧]

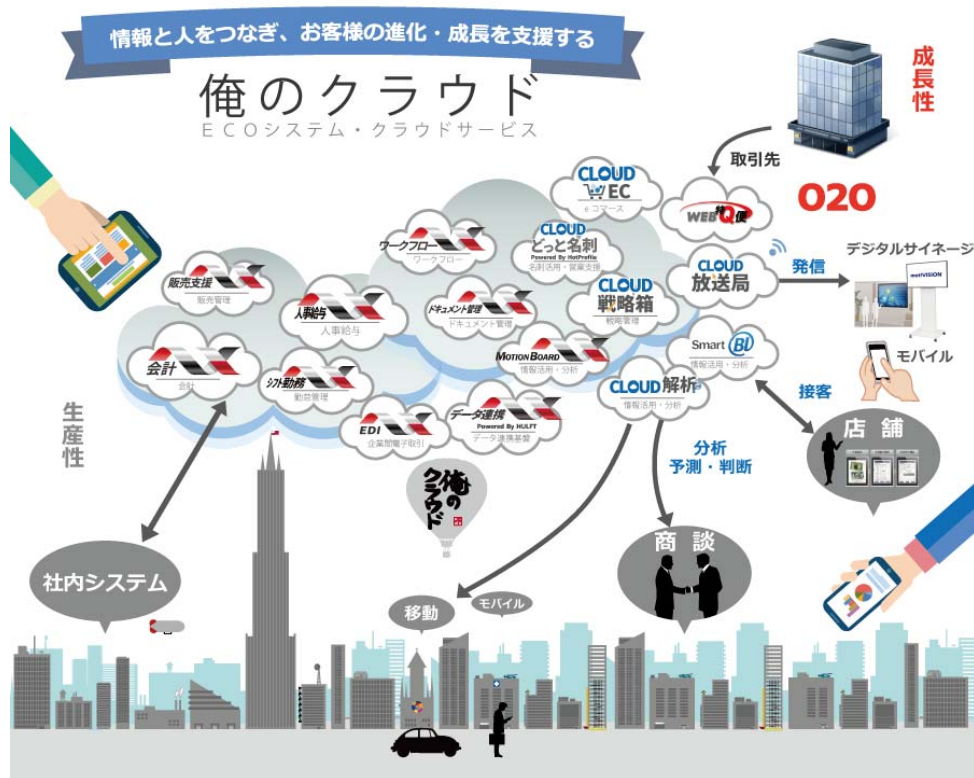
- ・ アイテック阪急阪神株式会社
- ・ 株式会社アストロステージ
- ・ アライドテレシス株式会社
- ・ 株式会社インフォニッチ
- ・ 株式会社エーアイエス
- ・ 株式会社NHCS
- ・ 株式会社SCP. SOFT
- ・ 亀田医療情報株式会社
- ・ 株式会社グリーン
- ・ サクラシステムサービス株式会社
- ・ 株式会社ナイス
- ・ 株式会社ナノメディカル
- ・ 日本システム開発株式会社
- ・ 日本データカード株式会社
- ・ 株式会社日本メディコム
- ・ 株式会社ミロク情報サービス
- ・ メディアマート株式会社
- ・ メディカルシステム株式会社
- ・ 株式会社メディカルフロント
- ・ 株式会社メルス
- ・ リコージャパン株式会社
- ・ 日本アイ・ビー・エム株式会社(オブザーバー)

トピックス① [クラウド]

IT資産は自己所有からクラウド環境へ

クラウドの急速な利用拡大や、スマートデバイスの普及にともない、企業のビジネススタイルも変わってきました。

J Bグループは、グループソリューションと業種や業務に特化したパートナー各社のソリューションを組み合わせ、最適なサービスを迅速に提供し、情報と人をつないでお客様の成長を支援します。



Ecoシステム・クラウドサービス「俺のクラウド」のサービスを拡充し、
2017年3月期までに、2,000件クラウドサービス提供を目指します。

トピックス② [クラウド]

俺のクラウド導入事例（販売管理、SmartBI、ECサイト）

アドバンスさま



ビジネスの可視化と新規事業のスピード対応に「俺のクラウド」シリーズを採用いただきました。

- 経営判断のために情報を可視化
- 新規事業展開にもスピード対応可能な柔軟性
- “いつでもどこからでも”情報にアクセス

ECサイト構築事例

小岩井乳業さま



牛乳販売店向け「WEB発注システム」のクラウド化に活用

SmartBI導入事例

エース・オートリースさま



現場部門によるデータ活用の促進に活用

クラウド型デジタルサイネージ導入事例

松竹マルチプレックスシアターズさま



フードコートのディスプレイ放映、離れた場所への配信に活用

シンクロファーマネット14（ペリカン薬局）さま



地域の人々へ伝えたい情報を確実に伝える手段として活用

俺のクラウド

詳しくは、こちらでご確認ください。

公式サイト

<https://orenocloud.tokyo/>

事例紹介サイト

<https://orenocloud.tokyo/case/>

トピックス③ [運用～セキュリティ]**セキュリティサービスを強化**

運用センターSMAC（Solution Management and Access Center）では、24時間365日体制でお客様のIT環境を支援しています。東京、大阪の2箇所のSMACにSOC（Security Operation Center：セキュリティ対策システムに特化した運用センター）機能を新たに追加し、近年その手口が高度化する標的型攻撃への対応や、マルウェアの分析等、セキュリティ技術の強化に取り組んでいます。社内も、外出先も、クラウドも一、お客様の情報資産を守り“日々の業務を停止させない”運用を支えます。

物理的セキュリティからデータやプロセスそのものを守る新セキュリティサービスへ



- セキュリティ監視運用サービス
- IoT機器監視運用サービス

高品質なIT運用と情報セキュリティを兼ね備えた体制を東京・大阪2箇所のSMACで二重化し、災害時等でもお客様の事業継続を支援します。

SMACはより一層の安心・安全をご提供するために、国際規格であるISOの認証を取得しています。

認証取得

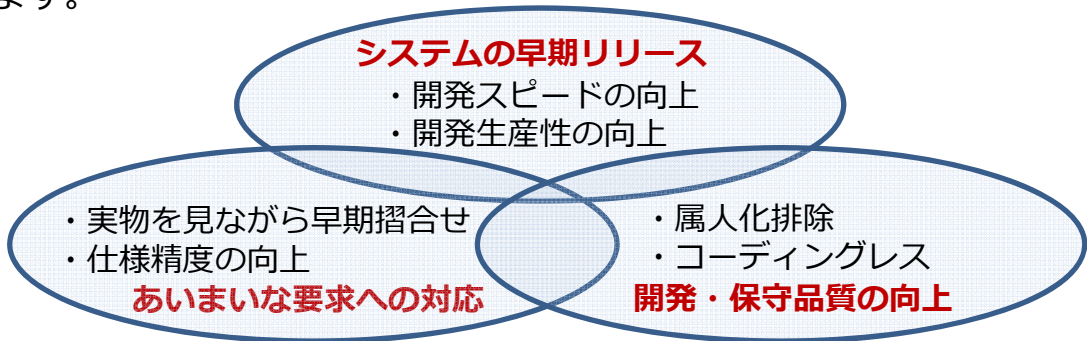
- ・SMAC東京／大阪
- ・中部／西日本サービスデスク



トピックス④ [システム開発]

アジャイル×高速開発を推進

ビジネス環境やテクノロジーの変化等により、近年のシステム開発へのお客様要望は多様化、複雑化しています。それに加えて、システムを開発するIT人材が不足しているという状況もあります。そのような中で、JBグループでは 実物をお客様と一緒に確認しながら開発をすすめる“アジャイル開発”を推進し、上流工程ツール「Xupper II」、プログラムを自動生成するツール「GeneXus」を用いて、品質の向上とスピード開発に取り組んでいます。



SIビジネス変革

上流工程ツールの利用

Xupper II

開発手法を変革

アジャイル

高速開発ツールの利用

GeneXus

- ・予算に合わせた開発
- ・設計の考慮漏れや認識違いの回避
- ・費用対効果が早くから得られる
- ・現場サイドからの高い評価
- ・進捗状況の可視化により、問題への早期対応が可能

- ・ツール作成だから早い
- ・スピード開発に対応できる能力
- ・物理バグが発生しない
- ・標準化、開発パーツの部品化
- ・開発中／本稼働後のトラブルなし

開発自動化ツール／業種特化／共通部品化

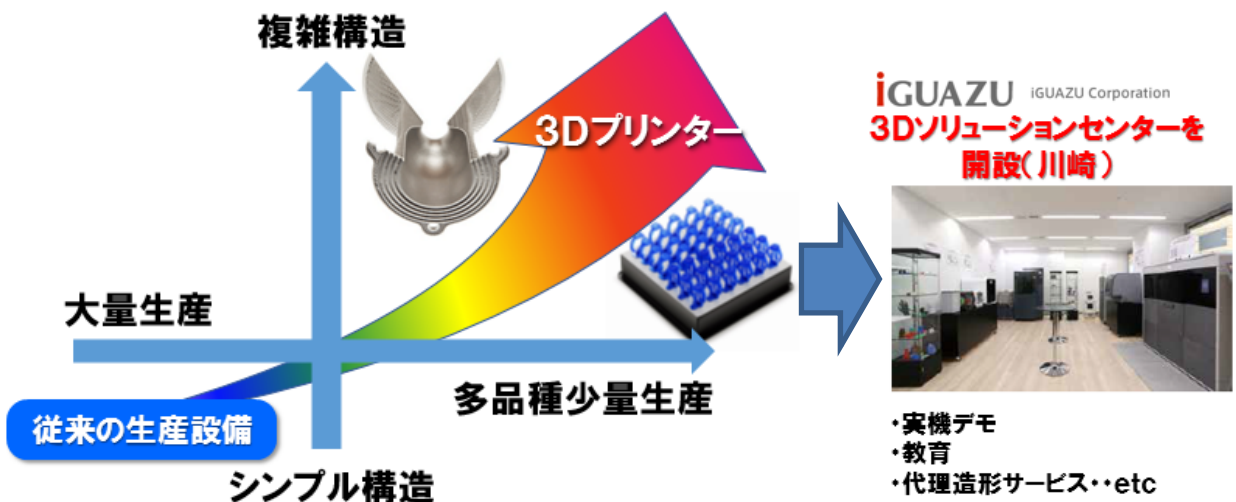
トピックス⑤ 【ディストリビューション】**ものづくりを支援する3D関連サービス**

ディストリビューション事業を担う i G U A Z U は、2009年より米国3D Systems社の販売代理店として3Dプリンターの販売・保守を開始し、これまで、製造業をはじめ、試作・造形を必要とする様々な分野に活用を提案しています。

昨今は、3D プリンターの精度向上や利用できる造形材料の進化（ゴム、金属、セラミック他）もあり、検証用としての造形だけではなく、**完成品の造形手段として活用が広がっています**。

また、J Bグループでマネジメントサービスを担当するJ B Sは3D Systems社製品のみならず、各社の3Dプリンターの保守を提供しています。

クラウドでの3Dデータ提供サービスや3Dデータを活用したシステムの構築等、新たなソリューションの創出とそれを支える3D技術者の育成にもグループ全体で取り組んでいます。

➤ 3Dプリンターは、いまや生産機械に

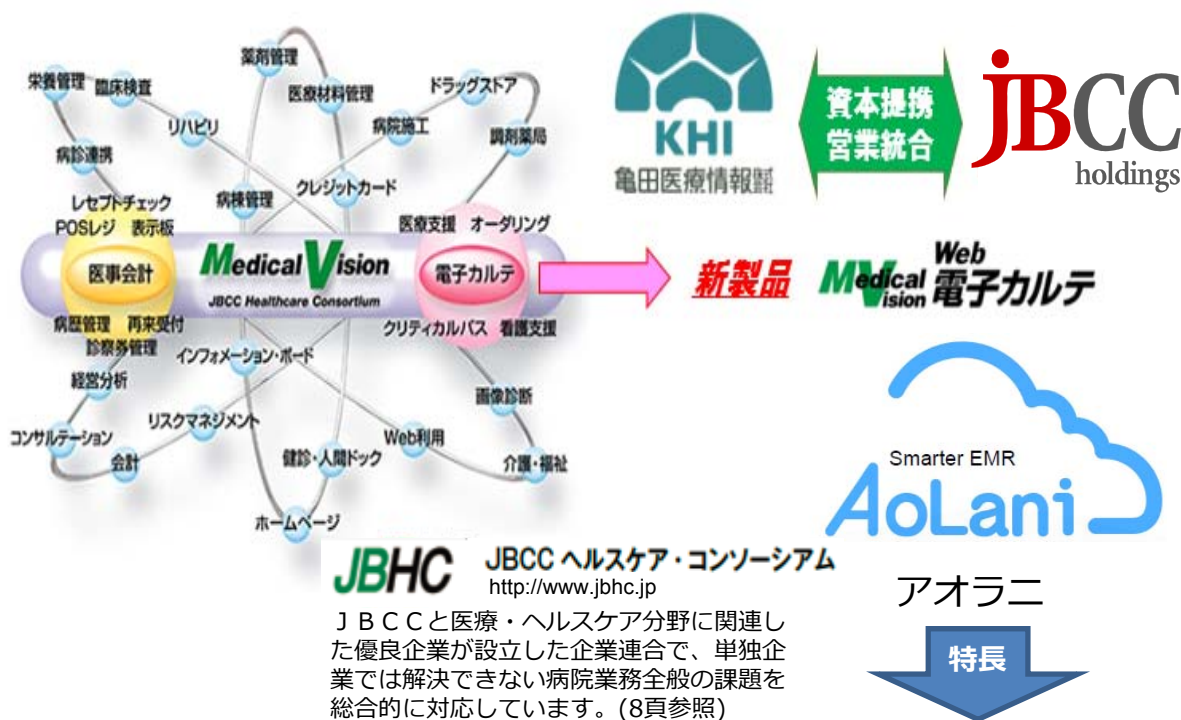
3Dプリンターサイト <http://www.iguazu-3d.jp/>

トピックス⑥ 【医療】

新・電子カルテを発売

「地域包括ケア」の実現に向けて、インフラ構築、運用保守まで総合的なIT活用を提案し、患者様と地域、患者様と病院をつなぐソリューションの展開を進めています。

地域連携・往診・在宅診療など必要なニーズをITを活用してつなぎ、医療サービスを安心して受けられる社会の実現も目指して、亀田医療情報と連携し、新電子カルテシステム「AoLani」を今秋から発売します。



■ 地域包括ケアの推進

複数の異なる法人事業所に対応し、地域包括ケアの推進と情報共有・セキュリティを実現。
2016年5月より亀田グループ内での導入を開始。

■ クラウド稼働への対応

これまで培ってきたWeb電子カルテの技術と稼働環境を進化させ、長く安心して利用できるシステムを提供。

Question. 9**中期経営計画「Innovate2016」のポイントは？**

中期経営計画「Innovate2016」は、2014年から2016年までを対象とする計画です。急速なクラウド化に対応すべく、新時代のソリューションを強化するとともに、医療の分野や3Dプリンターについても継続して、推進していきます。課題である収益性については、3つの事業分野の方向性を明確化します。

情報ソリューション、製品開発製造の2つの分野は独自性と高付加価値提案を推進し、「高利益率の実現」をすすめます。

ディストリビューション分野は売上高の拡大を図るとともに、「絶対利益の確保」をすすめます。

**成長基盤の確立/強い体質への改革により
「収益の向上」をめざします。**

■成長基盤の確立

情報ソリューション
製品開発製造

独自性と高付加価値による
高利益率の実現

ディストリビューション
(VAD & サプライ)

売上高の拡大(企業成長)と
絶対利益の確保

- **ビジネス構造を変える**
- **新時代ソリューションを推進**
- **新規分野への取組み**

■強い体質への改革

人材育成/生産性向上

※VAD : Value Added Distributor 付加価値型ディストリビューター

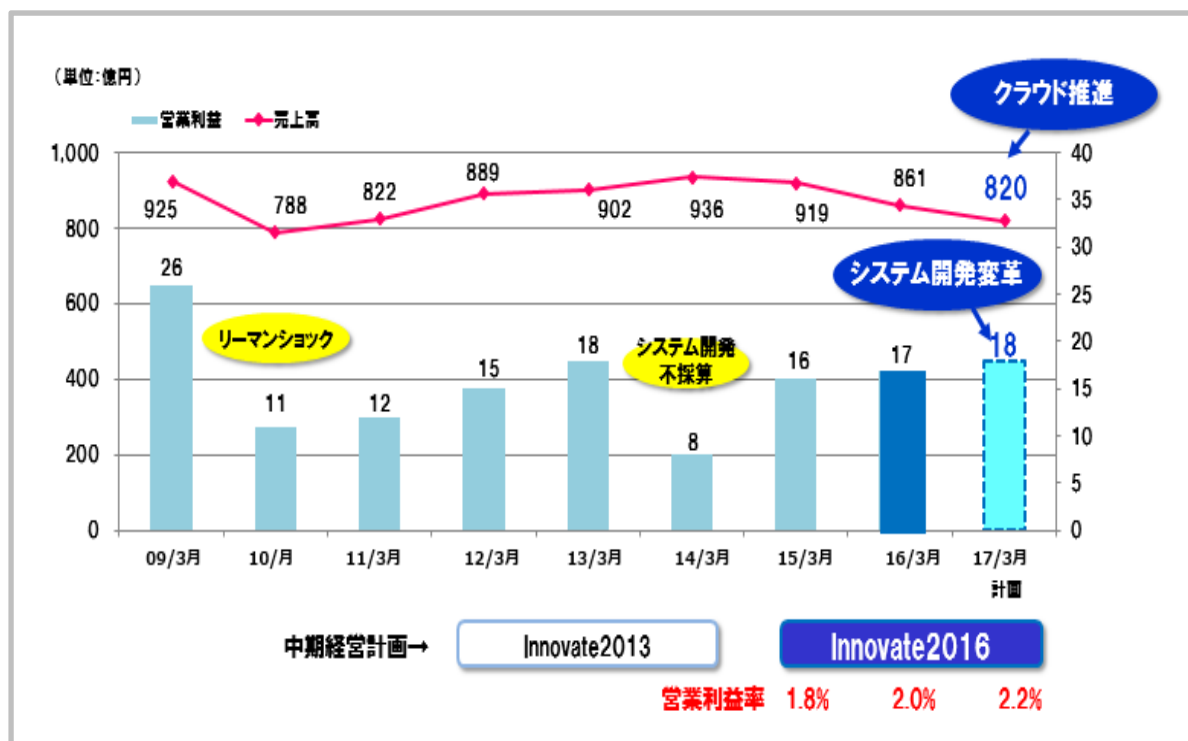
Question. 10

中期経営計画「Innovate2016」の進捗は？

中期経営計画「Innovate2016」は、2013年度までの中期経営計画「Innovate2013」から「強化」「継続」する事項や「課題」を踏まえて策定しました。「課題」である収益性について、各事業分野で、着実に向上してきています。

2016年度は、クラウドの推進によるハードウェア等の“所有から利用”への流れにより売上は前年の－5%の目標ですが、システム開発の改革により、利益の向上を進めます。

※Innovateは[変革する、刷新する]という意味で、2016は中期経営計画の最終年である2016年度を意味しています。



Question. 11

昨年のビジネス概況は？

企業のIT投資は、景気の緩やかな回復基調を背景に、上半期は大企業や中堅・中小企業において堅調に推移したものの、下半期は低下傾向で推移しました。

このような環境において、構造改革による収益の向上をさらに推進し、クラウド基盤の確立やサービスの変革等、独自能力の強化に取り組み、以下のような結果となりました。

平成28年/3月期

連結売上高

861億 29百万円
(前期比6.3%減)

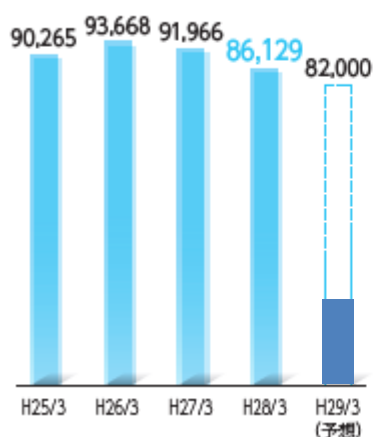
連結営業利益

17億 29百万円
(前期比6.1%増)

親会社株主に帰属する当期純利益

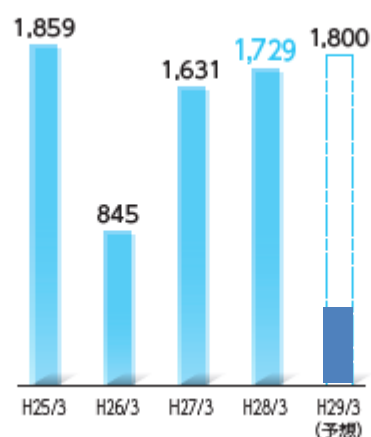
4億 36百万円
(前期比34.5%増)

連結売上高 (百万円)



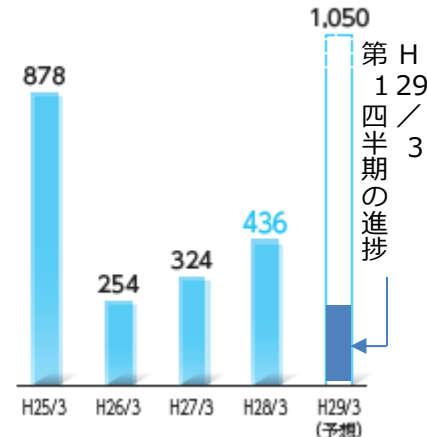
25.2%

連結営業利益 (百万円)



18.8%

親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



20.1%

第 H 129 / 3
四半期の進捗

Question. 12**財務指標の推移は？**

(単位：百万円)

	'12/03	'13/03	'14/03	'15/03	'16/03
売上高	88,902	90,265	93,668	91,966	86,129
営業利益	1,516	1,859	845	1,631	1,729
親会社株主に 帰属する当期純利益	120	878	254	324	436
総資産	40,054	41,516	43,905	44,614	38,072
総資産経常利益率(%)	4.0	4.9	2.3	3.8	4.1
純資産	13,953	14,702	14,064	14,330	13,151
自己資本比率(%)	32.1	32.7	29.4	29.6	33.5
自己資本 当期純利益率(%)	0.9	6.6	1.9	2.5	3.4
1株当たり純資産(円)	756.16	796.76	759.10	776.83	749.17
1株当たり 当期純利益(円)	7.02	51.61	14.97	19.06	25.63
株価収益率(倍)	78.77	17.48	50.23	41.03	26.45
配当性向(%)	356.1	48.4	167.0	131.2	97.5

Question. 13

CSR活動については？

CSR基本理念 JBグループはベスト・サービスカンパニーとして、よき企業市民を目指し、社会および環境との調和を図ります。

CSR実施方針 (1) 法令・規制を遵守し、お客様との約束を守り、高水準の倫理を保つ。
 (2) 常に最新のITに挑戦し、自らマインドによる開発、自社活用、お客様への提案・提供により、日本のIT活用の促進に貢献する。
 (3) グローバルな視野を持つよき企業市民として、社会への貢献、環境保全活動を積極的に行う。

CSR活動分野 CSR実施方針をベースに事業を通じた活動に加え、社会参加や地域貢献についても積極的に活動しています。

■ 事業活動を通じた社会貢献活動

- ・クラウドやサーバー統合、仮想化などお客様に最適なシステム提案
- ・セキュリティ対策への取り組み
- ・3Dプリンターの新たな活用を創出

■ 企業市民としての社会貢献活動

- ・被災地支援（「鎮守の森のプロジェクト」「福島応援隊」）
- ・環境活動（緑化活動、ISO14001、「Fun to Share」への参加）
- ・障がい者支援（関東車椅子バスケットボール連盟に協賛）



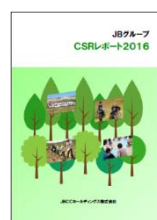
被災地支援活動
鎮守の森のプロジェクト

■ 企業倫理・社会的責任遵守活動

- ・JBグループ内部統制方針
- ・JBグループ行動基準
- ・JBグループ環境方針
- ・社会的責任
 - －ISO14001取得（環境活動）
 - －雇用拡大（女性、障がい者、高齢者）
 - －ポジティブ・アクション宣言（企業における女性活躍推進の取り組み）
 - －ポジティブ・オフ宣言（ワークライフ・バランス実現への取り組み）



ISO14001



CSRレポート

Question. 14

どのようなCSR活動？

太陽光発電システムをワンストップで提供

JBSは、太陽光パネルの販売、設計・施工や、24時間365日での発電の監視、点検業務を通じてお客さま企業の太陽光発電システムの運用を支援しています。

クリーンエネルギーの活用によりお客さま企業の電力利用の最適化を図り、企業におけるスマートグリッドの具現化を推進しています。



被災地支援：「福島応援隊」への協賛

「地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会（地産地消ふくしまネット）」が展開する“県産のくだものなどをギフトに利用”できる「福島応援隊」の取り組みに協賛しています。2011年度より、夏冬2回の購入支援を実施しており、これまでに延べ435名の社員が協力し、計694箱の旬の味を購入しました。



星新一賞

日経「星新一賞」は、“理系に向けた文学賞”、“想像力、発想力を中心におく文学賞”という、今までにない新しい概念の文学賞です。

JBCホールディングスは、創立50周年を機に新たな半世紀に向けた活動として、日本経済新聞社主催の日経「星新一賞」のコンセプトに共感し、創設当初より協賛しています。

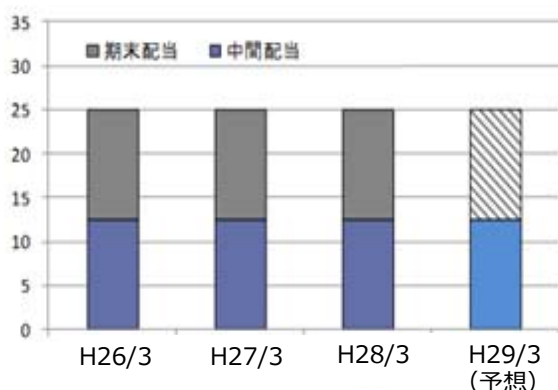
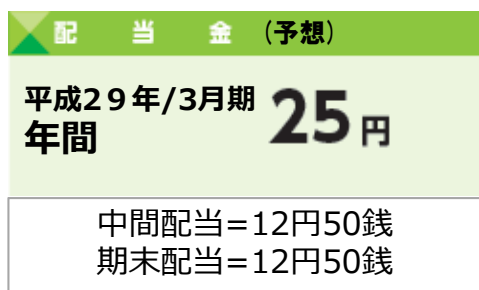
公式サイト <http://hoshiaward.nikkei.co.jp/>

※CSR実施方針や活動実績、CSRレポートはホームページよりご確認ください。
<https://www.jbcchd.co.jp/csr/>

Question. 15

株主還元と株主構成は？

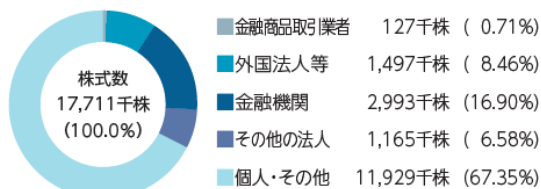
当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとしています。成長に向けての将来の投資や事業展開を考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針にしています。



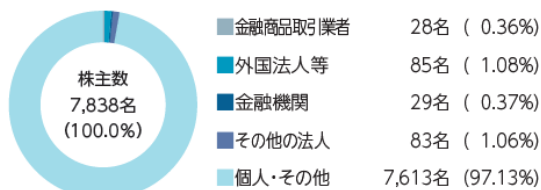
個人株主様の比率は以下の通りです。

所有者別株式分布状況 (平成28年9月30日現在)

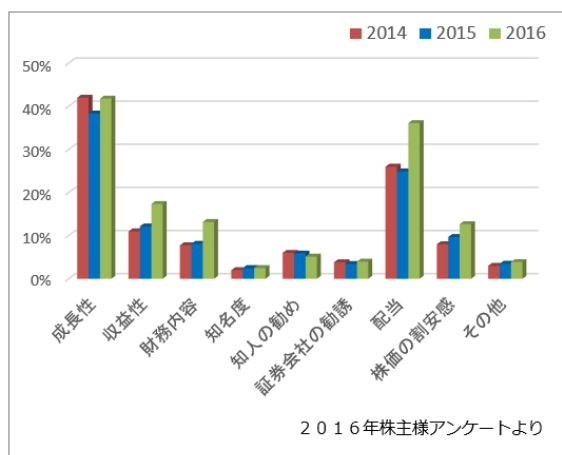
株式数



株主数



当社株式の購入ポイント



第44期(2007年度)から株主様アンケートを毎年実施
株主様の生の声を傾聴。2016年 回収率24.5%

会社概要

社 名	JBCC ホールディングス株式会社
英 文 名 称	JBCC Holdings Inc.
U R L	https://www.jbcc.co.jp
設 立	1964 年 4 月 1 日
所 在 地	〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア15F
資 本 金	4,687 百万円
グループ社員数	2,500 名 (有期社員 232 名を含む) 2016 年 4 月 1 日現在
事 業 内 容	純粋持株会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 9889)
会 計 監 査 員	あらた監査法人

役員

代 表 取 締 役 社 長	山 田 隆 司
代 表 取 締 役	東 上 征 司
取締役専務執行役員	赤 坂 喜 好
取締役常務執行役員	一 木 一 夫
	矢 花 達 也
	谷 口 卓
取 締 役	長谷川 礼司 (社外)
	田 邊 雅 章 (監査等委員)
	今 村 昭 文 (監査等委員・社外)
	齊 藤 紀 夫 (監査等委員・社外)

※当社は、2016年6月に監査等委員設置会社に移行しました。

グループ拠点

JBグループの各拠点からダイレクトにお客様をサポート。
いつでも、どこでも同品質のサービスを提供しています。

中国、タイ、シンガポールに現地子会社を設立し、
アジア圏に進出する日系企業のIT活用も支援しています。



2016年6月16日現在

委託事業所12拠点を含みます。



JBCCホールディングス株式会社

東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア
TEL 03-5714-5171 URL <https://www.jbcchd.co.jp/>

JBグループ

URL: <http://www.jbgroup.jp/>

JBCC(JBCC株式会社)	URL: http://www.jbcc.co.jp/	TEL:03-5714-5111 (代)
iGUAZU(株式会社イグアズ)	URL: http://www.i-guazu.co.jp/	TEL:044-280-8500 (代)
JBS(JBサービス株式会社)	URL: https://www.jbsvc.co.jp/	TEL:03-6380-4700 (代)
JBAT(JBアドバンス・テクノロジー株式会社)	URL: http://www.jbat.co.jp/	TEL:044-280-8600 (代)
CIS(株式会社シーアイエス)	URL: http://www.cisjp.com/	TEL:052-261-2182 (代)
SOLNET(株式会社ソルネット)	URL: http://www.solnet-dot.com/	TEL:093-671-7827 (代)
GBS(ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社)	URL: https://www.gbs.co.jp/	TEL:03-5216-5500 (代)
i-Learning(株式会社アイ・ラーニング)	URL: http://www.i-learning.jp/	TEL:03-5623-7371 (代)
JBCN上海(佳報(上海)信息技术有限公司)	URL: http://www.jbcchd.co.jp/jbcn/	TEL:03-5714-5171 (代)
JBTH(JBCC(Thailand) Co., Ltd.)	URL: http://www.jbcchd.co.jp/jbth/	TEL:03-5714-5171 (代)
JBSG(JBSG PTE. LTD.)	URL: http://www.jbcchd.co.jp/jbsg/	TEL:03-5714-5171 (代)
JBPS(JBパートナーソリューション株式会社)	URL: http://www.jbps.co.jp/	TEL:03-5714-5180 (代)
C&CBS(C&Cビジネスサービス株式会社)	URL: http://www.ccbs.co.jp/	TEL:044-280-8511 (代)



公式Facebook



公式Twitter



[お問い合わせ]

JBCCホールディングス株式会社

経営企画 広報IR TEL:03-5714-5171(平日 9:00~17:00) E-Mail: ir@web.jbcc.co.jp

本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際の業績は様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。